

頸城区 地域協議会だより

49号 2025・9

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 025-530-2311
FAX 025-530-2001

令和7年度の地域独自の予算事業では、13件の事業を実施しています。
今回は、活動の一部を紹介します。

大池の四季散策と 親子イベント体験事業

頸城区観光協会では、初めて公募による蛍観賞会を6月14日に実施しました。期待に反して、当日は朝から雨模様でしたが、一縷の望みを託し準備を始めました。残念ながら6名のキャンセルがありましたが、23名から参加していただき、蛍の生態や里山環境についての講座、さらにお楽しみみのぬか釜で炊いたおにぎりと具材たっぷりの豚汁で軽食タイム。参加者の方々からは大変好評をいただき、初挑戦して作った甲斐がありました。まわりが暗くなつた午後7時過ぎ、雨はやみませんでしたが、蛍の奮起に期待して出発。玄僧・大蒲生田の観賞会場では、宮沢賢治のごとく雨にも負けずたくさんの方々が飛んでいました。多少の雨でも蛍が飛ぶことが確認でき、今後の開催の判断に役立てたいと思います。来年もたくさんの方の参加をお待ちしています。

地域協議会委員 西巻 肇



活動団体 から紹介

頸城線植栽モデル事業

くびき花の会は3人で発足した団体です。8年前に頸城区を花いっぱいにして住みよい、心が和む街にしたいという気持ちで仲間を募ってきました。今は40人以上の会員となつています。

頸城線は、皆さんわかりますよね。多くはそこで作業しています。今年度は84メートル植栽し、令和5年度から地域独自の予算事業「頸城線植栽モデル事業」として続けてきた整備が一区切りとなります。作業している会員を見かけたら声をかけてください。また、会員にもなつてください。ユートピアくびき希望館の玄関の花壇も今後手入れをしていきます。年に2回、ランチ会を開催して親睦を図っています。

くびき花の会 代表 藤田 健男



地域独自の予算事業とは・・・それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、地域の実情にあった取組を更に実現していくことを目的とした上越市の事業です。

花の苗里親育成事業

6月11日に、坂口記念館を会場として「挿し木講習会」を開催しました。市と特定非営利活動法人くびき来夢ネットが頸城区を花いっぱいにすることを目的として実施している事業の一環で、15人の参加がありました。

有限会社頸城園芸代表取締役の今川義英氏を講師に迎え、参加者は、ソルニチニチソウやヒメイワダレンソウなどの挿し木を行いました。講師の今川氏からは、切り口は新鮮なものを使用し、必ず水分があるうちに土に挿すことが重要であること、土は鹿沼土や赤玉土など水はけがよく、肥料分がないものが推奨される、などの説明がありました。

参加者からは「花の種類も豊富で、たくさん挿し木を作ることができてよかった」などの声が聞かれました。



地域独自の予算事業意見交換会を開催しました

7月2日、地域協議会と地域の活動団体との間で活発な意見交換が行われ、地域の課題解決と活性化を目指す上で非常に重要な機会となりました。意見交換では、地元企業で働く外国人市民とその家族と地域住民のつながり強化や、大池小池、雁金城跡などの頸城の文化財をいかに継承・利活用していくか、これまでの取組や抱える問題点等の意見が交わされました。今回の意見交換を通じ、地域協議会と地域活動団体をこれまで以上に連携を強化していくことの重

要性を改めて認識するとともに、地域協議会と行政が地域活動団体を支援し、地域コミュニティの結束力向上に努めたいと思います。地域が抱える問題は複雑で一団体で決めるものではありません。多様な団体が協力し、知恵を出し合うことがこれからも不可欠です。今後も意見交換を実施して心をひとつにしていきたいと考えます。

地域協議会委員

船木 貴幸

7月2日、地域独自の予算事業の提案団体と地域協議会委員との意見交換会が行われました。多くの方々のご活躍を改めて感じる時間となりました。

また、それぞれの団体が協力し合う話し合いとなり、「『住みたい、訪れたい』まち頸城区」に向かつて、まずは今住む住民の方々が、住んでよい、楽しい、活きやすい区になってとより強く思いました。

なかでも、私が意見交換させていただいたくびき花の会の方々は、草取

りにはじまって、土の管理、花植えといった活動から、学校の野菜植え、更には、子どもたちへの食育指導や生徒との花植活動など様々な活動をされています。私が紹介している活動内容はほんの一部です。地域の皆さんも、少しの時間でよいので、頸城区に咲いている花を見てください。一生懸命手をかけた証拠に花が皆さんに元気をくれることと思います。

地域協議会委員

吉越 真紀



頸北地区地域協議会 委員合同研修会 を実施しました



研修内容

- ・地域自治推進プロジェクトの取組について説明
- ・グループ討議
 - ①②③④の4テーマに分かれて実施
 - ① 地域協議会
 - ② 地域の団体
 - ③ 地域自治の活動を活性化するための財源支援の仕組み
 - ④ 総合事務所及びまちづくりセンター

グループ討議テーマ 「地域協議会」

6月14日、柿崎コミュニティプラザで行われた合同研修に参加し、今後の「地域自治推進プロジェクト」の取組「方策案について市から説明を受けた後、頸北地区地域協議会委員で意見交換をして参りました。

地域協議会の今後の在り方としては、地域協議会委員（以下、委員）を確保する手段として公募だけでなく地域の活動団体の中から委員を推薦してもらい、選出された委員への報酬を設けるなどの新たな計画が示されており、しかし、意見交換では、活動団体から委員を選出したとしても、これまで自主的に立候補した委員と同じように熱意をもって活動できるのか？という意見が出ました。また、報酬は委員が納得いく設定となるのか等、委員が不安に感じる部分も多々挙がっており、委員の任期が連続2期までというところも、市民の意見をきかず、自主性を抑えるような計画だと「承知できません」と語気を強める委員がおられたのも印象的でした。

計画は「案」であり、決定では無いとのこと、今回の意見も踏まえて修正を検討していただくことを願うのと合わせて、市民の意見を聞き入れながらの計画策定を願いたいと思います。

地域協議会委員 安樂 大

グループ討議テーマ 「地域の団体」

6月14日、柿崎区・大潟区・吉川区・頸城区の4区合同による研修会が開催されました。テーマは「地域自治推進プロジェクト」に関する意見交換です。上越市が合併してから20年となり、地域協議会をはじめとする地域自治の仕組みは今まさに大きな転換期を迎えているように感じています。

今回のプロジェクトの目的は、「地域のことは地域で決め、地域で実行する」という地域主体の運営体制をより強化することにあります。そのため、上越市は5つの検討項目を掲げています。なかでも私が特に注目しているのは、地域組織の基盤強化です。

例えば、地域内の小規模団体がより活動しやすくなるように、地域組織の機能を強化することは重要です。しかし一方で、すでに多くの業務や調整を担っている振興会などが、さらにその負担を背負うことになれば、現場の疲弊は避けられません。人を増やす・資金を増やす・セミナーを開くといった対応は基本であり、市も地域の特性や課題に応じた持続可能な体制や支援のあり方を検討しています。

「地域のため・市民の満足度向上」という目的が現場への一方的な負担とならないよう、今後も前向きな議論を重ねていく必要があると感じました。

地域協議会委員 橋本 春美

地域協議会のつぎ

■4月16日 第1回地域協議会

- ・令和7年度頸城区地域協議会の取組について（自主的な審議）
- ・令和7年度頸城区における主な事業について（報告）

■5月21日 第2回地域協議会

- ・地域独自の予算事業意見交換会について（自主的な審議）

■6月14日 頸北地区地域協議会委員合同研修会

- ・地域自治推進プロジェクトの取組について
- ・説明者…上越市総合政策部

- ・グループ討議
- ・議題…地域自治推進プロジェクトの課題について

- ・地域協議会委員と地域政策課による意見交換

■6月18日 第3回地域協議会

- ・地域独自の予算事業意見交換会について（自主的な審議）
- ・農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」について（報告）

- ・令和7年度頸北地区地域協議会委員合同研修会について（報告）

■7月2日 地域独自の予算事業意見交換会

- ・令和8年度地域独自の予算事業の概要について
- ・実施団体からこれまでの事業取組（成果や課題）の発表
- ・令和8年度事業に提案を予定している団体による提案内容の説明
- ・意見交換

くびきまちづくり隊って 知ってますか？

頸城区地域協議会では、頸城区内のさまざまな団体と意見交換を行いました。各団体は、会員の減少や高齢化という課題を抱え、活動の継続に不安を感じていることが分かりました。

地域協議会の議論の中で出されたアイデアを基に、令和5年4月に「くびきまちづくり隊」がスタートしました。特定非営利活動法人くびき振興会が事務局となっており、人手が必要な団体と協力したいと考えている人々をマッチングし、ボランティア活動をし

くびき野レールパークや白田邸や瀧本邸、坂口記念館などのボランティア情報をお届けしています。都合がよいときに気軽にボランティア活動に参加してみませんか。

くびきまちづくり隊の公式LINEの友達登録はこちらから



編集後記

恵みの雨はいつ降るのでしょうか？この記事を書いている8月初旬までは、空梅雨で連日のように厳しい暑さが続いています。

雨が降っていないので、上越市のコメ作りに影響がはじめていますが、頸城区では、影響が少ないと考えられます。それは大池小池が田んぼに用水を供給する重要な「ため池」となっているからです。

地域協議会では、「『住みたい、訪れたい』まち頸城区」とし、5つの事業を定めました。そのひとつが「大池・小池を活かした観光」です。大池ではキャンプ場や四季を通じて散策ができます。昨年8月下旬には吉川区で巣立ったコウノトリが大池にきました。白鳥やカモが来る11月下旬までは大池にいたそうなんです。今年も吉川区でヒナが誕生したので、また大池でも見られることでしょう。

皆さんも、コウノトリを見に大池へ足を運んでみませんか。

(地域協議会委員 渡辺 繁雄)

頸城区のまちづくりのテーマ

「住みたい、訪れたい」まち 頸城区

頸城区地域協議会策定

みんなの力で実現したいですね!!



くびきまちづくり隊の公式LINE

の友だち登録をしてください!!

ここから →



頸城区内のボランティア情報をお届けします。都合がよいときに気軽にボランティア活動に参加できますよ。

主な活動場所



大池いこいの森



頸城区全域



レールパーク、瀧本邸、白田邸、坂口記念館



南川地区

お問い合わせ先: 頸城区総合事務局 総務・地域振興グループ ☎ 530-2311